

取り組み紹介書

施設 聖隷浜松病院	職場 _____ 氏名 _____ (団体の場合は団体名 薬剤部 _____)
--------------	--

【タイトル】 外来患者に対する薬剤師による麻薬専門外来
【課題】 忙しい外来診療の中で、医師による麻薬の十分な説明や副作用対策は困難であり、患者の理解不足による不十分な疼痛管理や副作用の発現により入院となる患者が発生していた。
【目的】 麻薬の十分な説明を行うことにより不適切な使用を防ぎ、不十分な疼痛管理や副作用の発現などの問題を解決する。
【方法】 2019年7月より外来で麻薬を導入する際に薬剤師が介入する薬剤師外来を開始した。薬剤師外来は、他に抗がん薬や抗リウマチ薬でも行っており、通常、初回は、医師が処方した後に介入し、2回目以降は医師の診察前に介入していた。しかし、2020.2までの実績で、初回の医師の処方に対し薬剤師の疑義・提案割合が約80%であった。そこで、がん性疼痛緩和指導管理料の取得のためにも、初回も医師の処方前に薬剤師が介入し、患者へ麻薬の説明を行い、医師に処方設計・提案を行う運用に変更した。
【結果・効果】 運用変更後の実績として、2020.4～11で、2019年は実績が0件であったがん性疼痛緩和指導管理料も103件/8ヶ月に増大し、また、21人の患者に介入し、薬剤師の処方提案は、医師に100%採択された。 初回の処方を薬剤師が提案する運用は全国的にも珍しく、8/20発刊の週刊薬事新報にも掲載された。
【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】 ・ ・ ・

※人命救助などの場合は添付の必要はありません。